

伊議第 788 号  
平成 31 年 2 月 25 日

伊賀市長 岡本 栄 様

伊賀市議会議長 岩田 佐俊

### 市政に関する提言の提出について

本市議会では、総務、教育民生及び産業建設常任委員会において課題抽出した施策または事務事業について所管事務調査を行い、各常任委員会から市政に関する提言書が提出されました。

この度、その結果を取りまとめ、市議会からの提言として別紙のとおり提出いたします。

決算にかかる成果報告及び昨年 5 月に実施した市議会タウンミーティングで市民から出された意見等を踏まえたものとなっていますので、今後の予算措置ならびに市政執行に取り組まれますよう要望いたします。

### 記

1. 提出書類 市政に関する提言 1 部

# 市政に関する提言

平成 31 年 2 月 25 日  
伊賀市議会

## 市政に関する提言

事 項 名	入湯税のあり方と宿泊税等の法定外課税導入について
所管委員会	総務常任委員会
現状と課題等	
<p>大山田温泉公社及びしまがはら郷づくり公社から納付される入湯税は、年間約 3,400 万円余りであり、伊賀市が両公社へ指定管理料や修繕にかかる経費等として支出しているものに相当する額である。昨年度及び今年度、総務常任委員会は両公社への出前講座を行い、入湯税の財源充当や税の廃止または減額などの要望について懇談した。</p> <p>伊賀市における入湯税は、日帰り入浴客及び宿泊客共に 1 人 1 日につき 150 円が課税されているが、近隣他市の多くが日帰り入浴客に対する入湯税を減額するなど不均一課税がなされている。</p> <p>これらの現状や要望等を踏まえ、総務常任委員会において入湯税のあり方と宿泊税等の法定外課税の導入について調査を行った。</p>	
上記事項に対する提言	
<p>① 入湯税のあり方</p> <p>② 宿泊税等を含めた法定外課税の導入</p> <p>上記 2 点について、公共施設最適化、地域振興、福祉及び観光振興などの幅広い視点から検討・研究を行う庁内委員会を、当局において設置するよう提言する。併せて、さるびの温泉及び島ヶ原温泉やぶっちゃんのあり方についても検討するよう申し添える。</p> <p>なお、庁内委員会の設置、運営及び検討・研究にあたっては、以下の点に留意すること。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 平成 31 年度中に各部署から広く人材を募った庁内委員会を設置し、委員は課題の検討・研究を行うなどし、その結果を報告すること。</li><li>2. 庁内委員会は、関係する企業や団体等へ意見聴取しながら検討・研究を行うこと。</li><li>3. 設置の状況及び設置後の検討・研究内容は定期的に議会へ報告すること。</li><li>4. 必要に応じて、有識者、関係者及び第三者などによる審議会等を設置すること。</li></ol>	

事 項 名	伊賀市立上野総合市民病院の今後の方向性について
所管委員会	教育民生常任委員会
現状と課題等	
<p>医療体制の充実については、まちづくりアンケート（市民意識調査）の調査結果において重要度が第1位となっており、また市議会タウンミーティングにおいても、医師の充実、医療体制づくり等についての意見が多く寄せられた。伊賀市において、安定した医療を継続して受けるためには、上野総合市民病院の役割は非常に重要であると考えられる。</p>	
上記事項に対する提言	
<p><b>【医師確保について】</b></p> <p>現在の常勤医師数は20名前後であり、内科、循環器内科、放射線科、麻酔科の医師が不足している。働く環境の改善を図り、三重大学、滋賀医科大学、関西医科大学との連携強化や新たな医師確保機関の開拓を検討頂きたい。</p> <p><b>【看護師確保について】</b></p> <p>市民病院の看護師の処遇については、積極的なアウトソーシングなどの取り組みにより看護師の負担軽減に努めており、また、研修体制及び給与面についても、他病院と比べて良い処遇といえるが、看護師の確保が困難な状態にある。その要因として、奨学金との兼ね合い、夜間勤務における介護業務の増加などが挙げられた。看護師の処遇面については、良い状況であることを広く発信し、アピールをするべきである。</p> <p>また、看護師不足解決のためには、介護士との連携が重要で、介護士確保の取り組みも必要となってくるが、介護の現場においても人材不足のため、今までにない新たな取り組みが必要となる。一例として、看護師の奨学金制度と同様に、伊賀白鳳高等学校のヒューマンサービス科（介護福祉コース、生活福祉コース）の生徒を対象に、大学や専門学校等への進学に対する奨学金制度を設け、卒業後に勤務してもらうことができないか、など介護士確保策の検討をして頂きたい。伊賀市内の高校では伊賀地域の生徒が多いことから、長年にわたって、市内の医療・介護現場において貢献いただけるのではないかと考える。また、看護学科、作業療法学科、理学療法学科を本校に開設している神村学園など専門的教育機関との連携策の検討を求める。</p> <p>さらに、潜在看護師が職場復帰できるように、すでに復職した看護師の聞き取りを行うなどし、勤務環境改善を検討頂きたい。</p> <p><b>【介護と医療の連携推進について】</b></p> <p>上野総合市民病院における地域医療連携室、入退院支援室の役割が、利用者十分に認識されていないケースが見受けられる。それぞれの役割を広報し、また、退院後の在宅療養や施設入所等、患者さんが安心して療養生活を送れる</p>	

ように、わかりやすい相談体制の構築に努めて頂きたい。

また、退院後のサポートでは、先進地である東京都北区の取り組み（高齢者あんしんサポート医による退院支援や認知高齢者への訪問相談、医師会・歯科医師会・民生委員・学識経験者・行政などで構成する在宅介護医療連携推進会議の設置）等を参考に伊賀市が行っている支援策を精査しながら、さらなる調査研究を行って頂きたい。

**【経営における人材の育成について】**

基準外繰入金は、平成 23 年度の約 8 億 5,000 万円から、平成 30 年度予算では約 9,700 万円へと改善され、さらに平成 32 年度には 0 円とする計画が立てられていることは評価できる。医療体制の充実を推進し、将来を見据え、経営に精通した人材の育成に努めて頂きたい。

**【医療機器の更新について】**

P E T - C T について、技師不足などの理由により稼働されていない現状から、今後の運用方針を速やかに検討して頂きたい。

電子カルテについても、費用対効果の分析を行い、医師や看護師の意見を十分踏まえ、更新の検討をして頂きたい。

**【中長期的な病院経営ビジョンの策定】**

現在取り組まれている「短期的な経営ビジョン」の策定にあわせて、「中長期的な総合的将来ビジョン」を早期に策定する必要があると考えられる。経営戦略を含めた計画の検討や、策定にかかる必要な予算措置を要望する。なお、これらを検討・研究した際は、その内容を議会へ報告して頂きたい。

事 項 名	企業立地促進事業と林業施策等の取り組みについて
所管委員会	産業建設常任委員会
現状と課題等	
<p>企業立地の促進については、まちづくりアンケート（市民意識調査）の調査結果において重要度は高いものの満足度が低く、また市議会タウンミーティングにおいても、市民から、空いている土地への大企業の積極的誘致や若者の定住の促進と雇用の確保等についての意見が多く寄せられた。</p> <p>また、農林業施策等の取り組みについても、アンケート結果では重要度は高いものの満足度が低く、タウンミーティングにおいても、農林業、耕作放棄地に関する市独自の仕組みづくりについての意見が寄せられている。</p> <p>伊賀市において、企業への優遇措置はあるものの、さらに積極的な企業誘致や雇用促進対策に取り組む必要があると考えられる。また農林業施策においても様々な事業を行っているものの、特に林業施策においては、膨大な森林の管理や木材利用の推進が重要であると考えられる。</p>	
上記事項に対する提言	
<p><b>【企業立地促進事業】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 企業立地の促進事業は、地域の雇用を拡大する大きな取り組みであるため、事業継続の方向性が妥当である。今後、製造業以外の優遇施策や、空き家を利用した起業支援、外国人や市外からの就労者への支援など人手不足対策について時代に即した取り組みを望む。</li> <li>2 南部丘陵地はデベロッパーを通じて工業用地として開発することだが、早急に企業立地に向けた確かな見通しを立てていただきたい。</li> </ol> <p><b>【林業施策等の取り組み】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 膨大な森林を整備するためには、森林所有者の協力と地域の森林情報収集が必要不可欠である。今後の森林整備の計画や団地化に必要な林地台帳整備について、優先して取り組んでもらいたい。</li> <li>2 大手ハウスメーカー進出により在来工法の建築戸数が減少し、その影響等で大工技能者等の後継者不足や製材業者の著しい出荷減少が起きている。川下業種での需要喚起や公共的な建築物等に率先して利用を推進するなどの取り組みを望む。</li> </ol>	